

# 京城日報

刊日十二  
(一八七五併刊朝)

## 軍艦浦鹽入港當然

沿黑龍江軍管區司令官の聲明

沿黑龍江軍管區司令官は、十五日、日本海軍に對し、我が國の領土に於ける軍艦の出入は當然の權利であるとして、地理上密接の關係にあるを以て、當然に之を許すべしと、通告した。司令官は、我が國の領土に於ける軍艦の出入は、當然の權利であるとして、地理上密接の關係にあるを以て、當然に之を許すべしと、通告した。司令官は、我が國の領土に於ける軍艦の出入は、當然の權利であるとして、地理上密接の關係にあるを以て、當然に之を許すべしと、通告した。

## 小露の防禦準備

小露の防禦準備

小露の防禦準備

## 獨艦艇乘員擾亂

獨艦艇乘員擾亂

## 愛蘭兵役制否決

愛蘭兵役制否決

## 西南六省聯合成立

西南六省聯合成立

## 財界は天佑を待

財界は天佑を待

## 秋の非

秋の非

## 永久的の施設

永久的の施設

## 京城第二中學位置

京城第二中學位置

京城第二中學位置

## 東拓貨山漸増

東拓貨山漸増

## 阪神向の釜山集中

阪神向の釜山集中

## 天日製鹽將來

天日製鹽將來

## 王世子御動靜

王世子御動靜

## 西南六省聯合成立

西南六省聯合成立

## 財界は天佑を待

財界は天佑を待

## 秋の非

秋の非

## 永久的の施設

永久的の施設

## 京城第二中學位置

京城第二中學位置

## 東拓貨山漸増

東拓貨山漸増

## 阪神向の釜山集中

阪神向の釜山集中

## 天日製鹽將來

天日製鹽將來

## 民衆發展の必要

民衆發展の必要

## 雪中活動の支那人

雪中活動の支那人

## 天の配給も云々

天の配給も云々

## 王世子御動靜

王世子御動靜

## 西南六省聯合成立

西南六省聯合成立

## 財界は天佑を待

財界は天佑を待

## 秋の非

秋の非

## 永久的の施設

永久的の施設

## 京城第二中學位置

京城第二中學位置

## 東拓貨山漸増

東拓貨山漸増

## 阪神向の釜山集中

阪神向の釜山集中

## 天日製鹽將來

天日製鹽將來

## 銀行會社の合同

銀行會社の合同

## 財界私見

財界私見

## 新春新韻

新春新韻

## 人事消息

人事消息

## 西南六省聯合成立

西南六省聯合成立

## 財界は天佑を待

財界は天佑を待

## 秋の非

秋の非

## 永久的の施設

永久的の施設

## 京城第二中學位置

京城第二中學位置

## 東拓貨山漸増

東拓貨山漸増

## 阪神向の釜山集中

阪神向の釜山集中

## 天日製鹽將來

天日製鹽將來

## 民衆發展の必要

民衆發展の必要

## 雪中活動の支那人

雪中活動の支那人

## 天の配給も云々

天の配給も云々

## 王世子御動靜

王世子御動靜

## 西南六省聯合成立

西南六省聯合成立

## 財界は天佑を待

財界は天佑を待

## 秋の非

秋の非

## 永久的の施設

永久的の施設

## 京城第二中學位置

京城第二中學位置

## 東拓貨山漸増

東拓貨山漸増

## 阪神向の釜山集中

阪神向の釜山集中

## 天日製鹽將來

天日製鹽將來

## 銀行會社の合同

銀行會社の合同

## 財界私見

財界私見

## 新春新韻

新春新韻

## 人事消息

人事消息

## 西南六省聯合成立

西南六省聯合成立

## 財界は天佑を待

財界は天佑を待

## 秋の非

秋の非

## 永久的の施設

永久的の施設

## 京城第二中學位置

京城第二中學位置

## 東拓貨山漸増

東拓貨山漸増

## 阪神向の釜山集中

阪神向の釜山集中

## 天日製鹽將來

天日製鹽將來



[illegible]

卷之十

**券集規程** ▲用紙は施書又  
形の用紙一枚毎に雅號又は腰  
外に住所氏名明記の事 ▲一等  
銀巻を呈す ▲贈賞は二氣

天

**は**


九十九歳六時迄  
三月二十二日  
九十九歳六時迄  
三月二十二日

晴れ

仁川 午後七時五分  
釜山 午後七時五分  
大邱 午後七時五分  
光州 午後七時五分  
大田 午後七時五分  
蔚山 午後七時五分  
全州 午後七時五分  
春川 午後七時五分  
江陵 午後七時五分  
平昌 午後七時五分  
安山 午後七時五分  
金海 午後七時五分  
大邱 午後七時五分  
光州 午後七時五分  
大田 午後七時五分  
蔚山 午後七時五分  
全州 午後七時五分  
春川 午後七時五分  
江陵 午後七時五分  
平昌 午後七時五分  
安山 午後七時五分  
金海 午後七時五分

仁川 午後七時五分  
釜山 午後七時五分  
大邱 午後七時五分  
光州 午後七時五分  
大田 午後七時五分  
蔚山 午後七時五分  
全州 午後七時五分  
春川 午後七時五分  
江陵 午後七時五分  
平昌 午後七時五分  
安山 午後七時五分  
金海 午後七時五分

卷之四  
十四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百


  
**日本赤十字社**
  
**健康哲學館大朝鮮分館**
  
 〇〇日 出 七時 入 五時  
 〇〇日 出 五時 入 三時







京釜線(南行) 同 (北行) 同 京義線(北) 同 (南行) 同 京仁線(仁川行) 同 京元線(北行) 同



京  
城  
日  
報

支那の蒙戦と民族の統一

客年朝鮮貿易

遊文偶錄

片空證文

我、嚴然として東邦に雄視し、一  
舉して獨逸勢力を動滅し去りしを  
以て、支那も現在の内訌以上大革  
命を生ずるに至らず。印度も亦た革  
命の動機を見るに遠からず。隨て出  
品として重要な地位を占むべきに  
至れることを遂に産業開發上の第一  
要目とすべく更に時局の變遷で  
は米の穀園向輸出盛況が望み  
小豆菜豆類の輸出直輸出増加に伴  
ひ内地よりの諸文報轉し内地工  
品の活躍に連れ小豆菜豆類銷路の  
急激な躍進を曉ゆ前年來新に輸入  
の量を見れば輸出の増進より増進  
の倍數に原産地に依る一時の事  
かを脱し支那及び米國仕立て

△一新生面を開きたるナ  
如き頗る注目を受けるものなるべ  
し今般世に出る品に就き昨年比  
の消長の趨勢を表示し更に進  
ずる重要品目削減の著しきもの  
に就き其事由を概観すれば如左

粗銹塊の如き本年に於  
二十三年爲額にして其值五山品  
東西兩端の鐵礦地方水産業を兼に  
る乾鮑魚の北滿洲等最近の輸格  
出品として重要な地位を占むべき  
に至れることを遂に産業開發上の  
第一要目とすべく更に時局の變遷  
では米の穀園向輸出盛況が望み  
小豆菜豆類の輸出直輸出増加に伴  
ひ内地よりの諸文報轉し内地工  
品の活躍に連れ小豆菜豆類銷路の  
急激な躍進を曉ゆ前年來新に輸入  
の量を見れば輸出の増進より増進  
の倍數に原産地に依る一時の事  
かを脱し支那及び米國仕立て

**蘇峰生**

**一片空證文**

第二思想皮及感情とは何ぞや、  
支那の國土の間に、  
點を見出して定めし  
點を同様に、互に  
世辭を交換するに止らず、  
國民の思想感情の上に於ては相俟り、相倚るの紐帶を出さねばならぬ也。

然るに現時の日支兩國を語るには、果して此に一ある乎。予が幾度も其の不徹底を認めざるを得ず。乃ち力めて云ふは平日本は果して自國を斷絶するものなりと、併せて支那を断絶するものなる手、決らある乎、準備ある乎、決定ある乎、自から取るに急ににして、興ふる意らざるなき乎、思想及び感情如きは、殆んど齒牙にだも擧げざる事實はなきや。苟も如上の事象を除却しての迎義ならば是れ唯だ一片の空證文のみ。

第一思想皮及び感情とは何ぞや、支那の國土の間に、點を見出して定めし點を同様に、互に世辭を交換するに止らず、國民の思想感情の上に於ては相俟り、相倚るの紐帶を出さねばならぬ也。


然るに現時の日支兩國を語るには、果して此に一ある乎。予が幾度も其の不徹底を認めざるを得ず。乃ち力めて云ふは平日本は果して自國を斷絶するものなりと、併せて支那を断絶するものなる手、決らある乎、準備ある乎、決定ある乎、自から取るに急ににして、興ふる意らざるなき乎、思想及び感情如きは、殆んど齒牙にだも擧げざる事實はなきや。苟も如上の事象を除却しての迎義ならば是れ唯だ一片の空證文のみ。


  
 布地 三 十 七
   
 口十六

ので私は仕方なく再び其廟に廻一時に覺めた。

遊支偶錄

[illegible]



本誌  
定価  
五錢  
毎  
一  
月  
金  
十  
五  
錢  
三  
月  
金  
四  
十  
五  
錢  
六  
月  
金  
七  
十  
五  
錢  
一  
年  
金  
一  
百  
五  
十  
錢

刊  
日  
一  
十  
二  
（  
百  
八  
七  
せ  
併  
刊  
夕  
朝  
）

發行所  
東京  
日  
報  
社  
（  
本  
社  
）  
東京  
市  
本  
町  
一  
丁目  
一  
番  
地  
（  
支  
店  
）  
東京  
市  
本  
町  
一  
丁目  
一  
番  
地  
（  
支  
店  
）  
東京  
市  
本  
町  
一  
丁目  
一  
番  
地  
（  
支  
店  
）

電話  
一  
〇  
〇  
〇  
（  
本  
社  
）  
一  
〇  
〇  
〇  
（  
支  
店  
）  
一  
〇  
〇  
〇  
（  
支  
店  
）  
一  
〇  
〇  
〇  
（  
支  
店  
）

[illegible]

埃及棉輸入高

至一九二一年以來の數字を見るに

イケダ小兒病内科醫院  
 京橋三越原町店へ入る道門下口 電話 二〇三三

株式定期取引誠實機敏に取扱可申候

東京株式取引所仲買人  
 東京市日本橋区本町二丁目六番地

沖野米三郎商店

年の始に通明す

お伽新  
 と  
 お伽唄

東京市日本橋区本町二丁目六番地

# 文藝界歌聲

## 日本名馬拵

池月磨墨 實井馬琴  
仲間市助 錦旗角與山  
市田馬五郎 神田伯山  
帝釋栗毛 桃田如雲  
騎射名手 大島伯鶴  
馬場 柳家小三  
馬雪陣 翁家小三  
馬の復恩 神田松石  
馬の仇討 橘道軒國主  
白馬仇討 橘道軒國主  
白馬仇討 橘道軒國主

情  
段六  
併優  
訴  
紅

改題  
段六  
併優  
訴  
紅



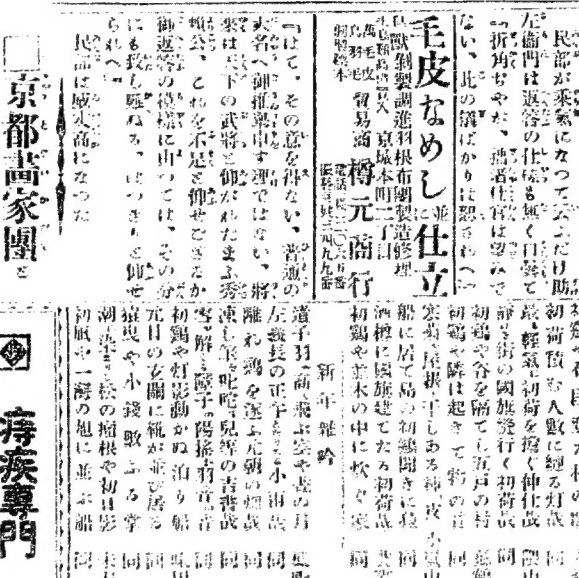
功五親 島崎龍一







通一國兩宜 番外一節兩宜(一名一種梅  
五十五號) 面に拾捌し

[illegible]

山縣人  
大工道具屋物  
小林萬錄  
はねつき  
一切の治癒神速に便  
西村商會  
恩給年金額即時分拆所  
坂元分拆所  
礦物定量分析

[illegible][illegible]

一、原料を精選し  
 温雅の芳香を有し  
 細き泡沫を生ず  
 水にも溶解し  
 途に溶け崩る  
 故に一般の安  
 衛生に適ひ

〇

わ・こ  
けん

ろくろ石鹸

るのみならず衛生の性  
脂肪を香りに留め刺激  
るものを取す

適度の溶解性を備へて能  
く而かも浴室に用ひて半  
が如き憂ひなし

家庭に於ける、浴室、化粧用として  
經濟に合する、理想的實用品なり

家庭薬

東京市日本橋區橋町四丁目



純正の石鹼は亞爾蘭  
脂肪なきが故に混濁  
が故に些の洗滌を  
留せず、更に  
ワタ・リン  
仔細に洗滌の亞爾蘭  
を要する事なきは  
皮膚の分泌量外く  
の皮膚、及び漆黒  
き化粧用石鹼は實  
故のみを以て其適

保兒に透明に溶解し遊離する事なく混合物なき  
 純石鹼なりとす  
 此を驗するも草木の反應  
 仕舞の上の純石鹼なりとす  
 一面から粗量なる本邦人  
 此を家庭の洗滌に用ゐるべ  
 化學上の純石鹼たるもの  
 論す所からず

[illegible][illegible]

<p>仁川 大板行 (群出寄也) 午五時出</p> <p>八連行 大連行 正午出</p> <p>安東丸 二月廿五日 正午出</p> <p>安東丸 二月廿七日 正午出</p> <p>安東丸 二月廿九日 正午出</p> <p>安東丸 三月一日 正午出</p> <p>安東丸 三月三日 正午出</p> <p>安東丸 三月五日 正午出</p> <p>安東丸 三月七日 正午出</p> <p>安東丸 三月九日 正午出</p> <p>安東丸 三月十一日 正午出</p> <p>安東丸 三月十三日 正午出</p> <p>安東丸 三月十五日 正午出</p> <p>安東丸 三月十七日 正午出</p> <p>安東丸 三月十九日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿一日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿三日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿五日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿七日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿九日 正午出</p> <p>安東丸 三月卅一日 正午出</p>									
<p>仁川 大板行 (群出寄也) 午五時出</p> <p>八連行 大連行 正午出</p> <p>安東丸 二月廿五日 正午出</p> <p>安東丸 二月廿七日 正午出</p> <p>安東丸 二月廿九日 正午出</p> <p>安東丸 三月一日 正午出</p> <p>安東丸 三月三日 正午出</p> <p>安東丸 三月五日 正午出</p> <p>安東丸 三月七日 正午出</p> <p>安東丸 三月九日 正午出</p> <p>安東丸 三月十一日 正午出</p> <p>安東丸 三月十三日 正午出</p> <p>安東丸 三月十五日 正午出</p> <p>安東丸 三月十七日 正午出</p> <p>安東丸 三月十九日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿一日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿三日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿五日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿七日 正午出</p> <p>安東丸 三月廿九日 正午出</p> <p>安東丸 三月卅一日 正午出</p>									